

菅谷松本市長の講演、西入さんらの演奏を楽しむ 第 52 回関東同窓会総会に 223 人参加

第 52 回上田高校関東同窓会総会・懇親会が 6 月 30 日の日曜日、東京・千代田区の如水会館で開催され、46 期から 111 期までの 223 人が参加した。

開幕イベントでは、チェルノブイリ原発事故の医療支援を経験した異色の松本市長、菅谷昭氏（60 期）が「命を大切にすまちづくり」と題して講演。長野県の衛生部長時代、市民から推されて市長選に立候補した直後に胃がんが見つかったことや、落選すると思っていたら「運悪く」当選してしまったことなどの「選挙秘話」を、ユーモアを交えて紹介した。

医療者出身の市長として 1 期目は「健康づくり、危機管理、子育て支援」（3K 政策）を推進。2 期目からは、それを発展させた「健康寿命延伸都市の創造」を最重点目標に掲げ、時代を先取りする新たな都市モデルを松本から全国に発信することを目指している。

「健康寿命」とは「平均寿命」から要介護などの期間を引いた期間。最初は市民から見向きもされなかったが、厚生労働省が最近、今後 10 年間の最重要目標を「健康寿命の延伸」に定めたため急に全国的に脚光を浴び、職員や市民から「先見の明」を見直されているようだ。



総会に続いて隣の大ホールで開かれた懇親会では、西入真子さん（95 期）ら 4 人の女性ボーカルを中心とした 7 人編成バンド「The Honey Bees」がヒットソングを次々と演奏した。

「Dream Girls」「ハナミズキ」などの曲を演奏した後、いきなり西入さんが「秋玲瓏の空衝きて…」とソロで歌い出すサプライズ演出も。この後、参加者全員による校歌斉唱となり、会場の熱気は最高潮に達した。最後は「青い山脈」などの昭和歌謡メドレーを歌い、年配者から若者まで幅広い世代が音楽を楽しんだ。

←校歌を歌う西入真子さん



講演を聴く参加者



西入真子さん（左端）らのバンド演奏



懇親会であいさつする清水通男実行委員長



懇親会を楽しむ若い人たち



懇親会の全景